



Cisco Digital Media System 5.1.x Appliances

アドミニストレーション ガイド

Administration Guide for Cisco Digital Media System 5.1.x Appliances

2009/03/17

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。**

**本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、
正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、
弊社担当者にご確認ください。**

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えられますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0812R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Digital Media System 5.1.x Appliances アドミニストレーションガイド

© 2002-2009 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2009, シスコシステムズ合同会社.

All rights reserved.



CONTENTS

はじめに	v
目的	v
対象読者	v
表記法	v
関連資料	vi
マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート	vi

CHAPTER 1

概要	1-1
概要	1-1
アプライアンスのセットアップ要件	1-2
アプライアンスのセットアップ準備	1-2

CHAPTER 2

Video Portal アプライアンスのセットアップと設定	2-1
Video Portal アプライアンスのセットアップ	2-1
Video Portal アプライアンスの設定	2-2

CHAPTER 3

DMM アプライアンスのセットアップと設定	3-1
DMM アプライアンスのセットアップ	3-1
DMM アプライアンスの設定	3-2

CHAPTER 4

Video Portal アプライアンスの管理	4-1
AAI の起動と使用方法	4-1
日常の管理作業の実行	4-1
アプライアンス システム情報の表示	4-2
システム ログのコピーの取得と転送	4-2
Java キャッシュのイネーブルとディセーブル	4-3
アプライアンス管理パスワードの変更	4-3
アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート	4-4
アプライアンスの再起動	4-4
アプライアンスのシャットダウン	4-4
Video Portal アプライアンスの管理オプションの使用	4-5
Video Portal の命名または名前変更	4-5
Video Portal アプライアンスのバックアップ	4-5

Video Portal アプライアンスのバックアップからの復元	4-6	4-6
ログレベルの変更	4-6	
アプライアンスのネットワーク設定の変更	4-7	4-7
アプライアンスの日時設定の変更	4-8	4-8
データベース複製の確認	4-9	4-9

CHAPTER 5

DMM アプライアンスの管理	5-1	5-1
AAI の起動と使用方法	5-1	5-1
日常の管理作業の実行	5-1	5-1
アプライアンス システム情報の表示	5-2	5-2
アプライアンスのバックアップ	5-2	5-2
アプライアンスのバックアップからの復元	5-2	5-2
ログレベルの変更	5-3	5-3
システム ログのコピーの取得と転送	5-3	5-3
Java キャッシュのイネーブルとディセーブル	5-4	5-4
アプライアンス管理パスワードの変更	5-4	5-4
アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート	5-5	5-5
アプライアンスの再起動	5-5	5-5
アプライアンスのシャットダウン	5-5	5-5
アプライアンスのネットワーク設定の変更	5-6	5-6
アプライアンスの日時設定の変更	5-7	5-7
データベース複製の設定	5-7	5-7



はじめに

この章の構成は、次のとおりです。

- 「目的」 (P.v)
- 「対象読者」 (P.v)
- 「表記法」 (P.v)
- 「関連資料」 (P.vi)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.vi)

目的

このマニュアルでは、DMM アプライアンスと Video Portal アプライアンスをセットアップ、設定、管理する方法について説明します。また、DMS アプライアンスの管理に役立つテキスト形式のユーザーインターフェイスである、アプライアンス管理インターフェイス (AAI) の使い方についても説明します。

対象読者

このマニュアルの対象読者は、Cisco DMS アプライアンス ハードウェアのインストール、設定、トラブルシューティングを行うシステム管理者またはネットワーク管理者です。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

項目	表記法
コマンドおよびキーワード	太字
ユーザが値を指定する変数	イタリック体
表示されるセッションおよびシステムの情報	screen font
ユーザが入力する情報	boldface screen font
ユーザが入力する変数	<i>italic screen font</i>

項目	表記法
本文中でのメニュー項目を選択する操作の記述	[オプション]>[ネットワーク設定]
表中でのメニュー項目を選択する操作の記述	[オプション]>[ネットワーク設定]



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。

関連資料

すべての Cisco DMS 製品のドキュメントのリストについては、次の URL で「*Guide to Documentation for the Cisco Digital Media System*」を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6681/products_documentation_roadmaps_list.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

概要

Cisco Digital Media System (DMS) は、Cisco Digital Media Manager (DMM) アプライアンス、Cisco Video Portal アプライアンス、Cisco Digital Media Player (DMP) エンドポイント、Cisco Digital Media Encoder (DME) 装置、およびすべての関連するソフトウェア コンポーネントからなる製品ファミリーです。

このマニュアルでは、次の Cisco Digital Media System (DMS) 5.1.x アプライアンスをセットアップおよび設定する方法について説明します。

- Cisco Media Convergence Server 7825-H3 シャーシまたは Media Convergence Server 7835-H2 シャーシにプレインストールされた Cisco Video Portal 5.1.x および Video Portal Reports 5.1.x ソフトウェア
- Media Convergence Server 7835-H2 シャーシの Media Convergence Server にプレインストールされた Cisco Digital Media Manager 5.1.x (DMM) ソフトウェア

この章の構成は、次のとおりです。

- 「概要」(P.1-1)
- 「アプライアンスのセットアップ要件」(P.1-2)
- 「アプライアンスのセットアップ準備」(P.1-2)

概要

Cisco DMS は、組織の規模に関わらず、ライブまたはオンデマンドのビデオ コンテンツやデジタル サイネージ コンテンツを作成、管理、編成し、IP ネットワークを介して特定の視聴者または一般的な視聴者に配信することを可能にする製品です。

Cisco DMS では、次のことができます。

- 対象とするお客様、投資家、報道関係者、アナリストとのコミュニケーション。
- あらゆる場所で視聴できるように、イベントをライブまたはオンデマンドで配信する。
- 従業員、サプライヤ、パートナーに、重要な情報やトレーニングを配信する。
- 学生を対象に教育関連のコンテンツを配信する。

一般的に使用される Cisco DMS の用語について理解するには、Cisco.com で『*FAQs and Troubleshooting Guide for Cisco Digital Media System 4.x and 5.x*』を参照してください。

アプライアンスのセットアップ要件

- Cisco DMS 製品を使用するクライアントのシステム要件を理解するには、または、既知の問題や最新情報を知るには、Cisco.com で『*Release Notes for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。
- その他の Cisco DMS コンポーネントに関するマニュアルを取得するには、Cisco.com で『*Guide to Documentation for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。

アプライアンスのセットアップ準備

アプライアンスのセットアップと設定を始める前に、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** アプライアンスをリモートから管理するのに使用するネットワーク コンピュータを決定します。
 - ステップ 2** そのコンピュータで、必要なクライアント ソフトウェアをインストールして設定します。このとき、Cisco.com の『*Release Notes for Cisco Digital Media System 5.0*』に記載されているクライアントのシステム要件に従います。
 - ステップ 3** Video Portal アプライアンスと DMM アプライアンスの間で TCP ポート 22 がブロックされないようにします。
 - ステップ 4** DMM アプライアンスの権限を持つユーザが、TCP ポート 8080 を使用してパケットを送受信できるようにします。
 - ステップ 5** Video Portal アプライアンスの権限を持つユーザが、TCP ポート 80 (Video Portal) および 8080 (Video Portal Reports) を使用してパケットを送受信できるようにします。
 - ステップ 6** Video Portal アプライアンスおよび DMM アプライアンス用の DNS エントリを作成および公開します。
-



CHAPTER 2

Video Portal アプライアンスのセットアップと設定

この章の構成は、次のとおりです。

- 「[Video Portal アプライアンスのセットアップ](#)」 (P.2-1)
- 「[Video Portal アプライアンスの設定](#)」 (P.2-2)

Video Portal アプライアンスのセットアップ

作業を開始する前に

- ネットワークに少なくとも 1 台のコンピュータがあり、他のネットワーク デバイスから TCP ポート 80 および 8080 でアクセスできるように設定されていることを確認します。
- Video Portal アプライアンス用の DNS エントリが作成および公開されていることを確認します。
- ブラウザのポップアップ ウィンドウを許可します。
- ネットワークの IP アドレスがダイナミック (DHCP) か固定 IP アドレスかを確認します。ネットワークで固定 IP アドレスを使用している場合は、次の情報を取得します。
 - Video Portal アプライアンスに割り当てられている IP アドレス
 - 使用するサブネット マスク
 - デフォルトのネットワーク ゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバに割り当てられている各 IP アドレス

手順

- ステップ 1** 装置を開梱し、すべてのコンポーネントが揃っていることを確認します。
- ステップ 2** 冗長電源コードをアプライアンス背面に接続します。
- ステップ 3** イーサネット ケーブルをアプライアンス背面にあるポート 1 に接続します。
- ステップ 4** モニタをアプライアンス背面にある VGA 出力ポートに接続します。
- ステップ 5** 標準の PS2 キーボードをアプライアンス背面にある紫色の PS2 ポートに接続します。
- ステップ 6** アプライアンスの電源を入れます。

「Start of First Boot」(最初のブート開始) メッセージが表示されます。

Video Portal アプライアンスの設定

次のチェックリストを使用して、Video Portal アプライアンスをセットアップし、ソフトウェアを設定してください。

✓	作業
☐	1. 「Start of First Boot」(最初のブート開始) メッセージが表示されたら、 Enter キーを押します。
☐	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  注意 完全修飾ホスト名の入力を要求されたときは、IP アドレスを入力しないでください。 </div>
☐	2. Video Portal アプライアンスの完全修飾ホスト名を入力して、[OK] を選択します。DNS でルーティング可能なホスト名を入力する必要があります。例: server.example.com
☐	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  注意 DHCP を使用してアプライアンスの IP アドレスを取得しないでください。DHCP システムで IP アドレスが予期せず有効期限切れになる可能性があり、装置の設定をやり直して、切断された接続を再確立するという管理オーバーヘッドが発生するためです。また、アプライアンスに割り当てた固定 IP アドレスは変更しないでください。 </div>
☐	<p>3. IP アドレスとルーティング情報を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプライアンスが IP アドレスを DHCP サーバから取得する場合は、[Yes] を選択します。 • アプライアンスが固定 IP アドレスを使用する場合は、[No] を選択し、次の固定ネットワーク設定を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - アプライアンスで使用する IP アドレスを入力します。 - サブネット マスクを入力します。 - デフォルト ゲートウェイ IP アドレスまたは DNS でルーティング可能なホスト名を入力します。 - プライマリ DNS サーバの IP アドレスまたは DNS でルーティング可能なホスト名を入力します。 - セカンダリ DNS サーバの IP アドレスまたは DNS でルーティング可能なホスト名を入力します。 - [OK] を選択します。
☐	4. 入力したネットワーク設定が正しいかを確認します。設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。
☐	<p>5. 次の手順のいずれかを実行し、アプライアンスのネットワーク インターフェイス カード (NIC) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他のデバイスに接続するときにアプライアンスの NIC がオートネゴシエーションによって最速の転送モードになるようにする場合は、[Yes] を選択します。 • NIC でオートネゴシエーションを使用しない場合は、[No] を選択します。NIC の速度を選択して、[OK] を選択します。次に、二重モードを選択し、[OK] を選択してから、[Yes] を選択します。
☐	<p>6. 次のように時間帯を選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 上または下の矢印キーを使用して、時間帯のリストを参照します。 b. 正しい時間帯が表示されたら、[OK] を選択します。 c. 設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。

✓	作業
<input type="checkbox"/>	<p>7. 次のように現在の年、月、日を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. Tab キーと上または下の矢印キーを使用して、値を参照して変更します。 b. 完了したら、[OK] を選択します。 c. 設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。
<input type="checkbox"/>	<p>8. 現在の時間、分、秒を選択します。0100 から 2400 の 24 時間形式を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. Tab キーと上または下の矢印キーを使用して、値を参照して変更します。 b. 完了したら、[OK] を選択します。 c. 設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。
<input type="checkbox"/>	<p> 注意 インスタンス名を入力する必要があります。入力しないと、セットアップに失敗します。</p>
	<p>9. Video Portal のインスタンス名を入力して、[OK] を 2 回選択します。</p>
<input type="checkbox"/>	<p>10. <i>admin</i> アカウントのパスワードを入力し、[OK] を選択します。これは、アプライアンスを管理するのに使用するデフォルトのアカウントです。入力するパスワードは、6 文字以上にする必要があります。</p> <p>ヒント 強力なパスワードを使用することを推奨します。強力なパスワードとは、8 文字以上で、数字、大文字と小文字、および記号を含むパスワードです。</p>
<input type="checkbox"/>	<p>11. <i>pwadmin</i> アカウントのパスワードを入力し、[OK] を 2 回選択します。これは、<i>admin</i> アカウントのパスワードを忘れたときに使用するアカウントです。</p> <p>しばらく待つと、アプライアンスがリブートされ、ログインプロンプトが表示されます。</p>

ライセンスの取得に必要な手順を実行して、Video Portal の機能がアクティブになったら、Video Portal のインストールは終了です。詳細については、第3章「DMM アプライアンスのセットアップと設定」を参照してください。



CHAPTER 3

DMM アプライアンスのセットアップと設定

この章の構成は、次のとおりです。

- 「DMM アプライアンスのセットアップ」(P.3-1)
- 「DMM アプライアンスの設定」(P.3-2)

DMM アプライアンスのセットアップ

作業を開始する前に

- DMM アプライアンス用の DNS エントリが作成および公開されていることを確認します。
- DMM アプライアンスおよび Video Portal アプライアンスのソフトウェアをロック解除するライセンス キーを取得していることを確認します。ライセンス キーの取得については、アプライアンスに付属または Cisco.com に掲載されている『*Read Me First for Cisco Digital Media Manager 5.1*』および『*Read Me First for Cisco Video Portal and Cisco Video Portal Reports 5.1*』を参照してください。
- 第 2 章「Video Portal アプライアンスのセットアップと設定」のチェックリストを作成します。Video Portal アプライアンスの IP アドレスとインスタンス名を知っておく必要があります。
- ネットワークに少なくとも 1 台のコンピュータがあり、他のネットワーク デバイスから TCP ポート 80 および 8080 でアクセスできるように設定されていることを確認します。
- ブラウザのポップアップ ウィンドウが無効になっている場合は、ポップアップ ウィンドウを許可します。ポップアップ ウィンドウが有効になっていないと、チェックリストを完成できません。
- ネットワークの IP アドレスがダイナミック (DHCP) か固定 IP アドレスかを確認します。ネットワークで固定 IP アドレスを使用している場合は、次の情報を取得します。
 - DMM アプライアンスに割り当てられている IP アドレス
 - 使用するサブネット マスク
 - デフォルトのネットワーク ゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバに割り当てられている各 IP アドレス

手順

- ステップ 1** 装置を開梱し、すべてのコンポーネントが揃っていることを確認します。
- ステップ 2** 冗長電源コードをアプライアンス背面に接続します。
- ステップ 3** イーサネット ケーブルをアプライアンス背面にあるポート 1 に接続します。
- ステップ 4** モニタをアプライアンス背面にある VGA 出力ポートに接続します。

ステップ 5 標準の PS2 キーボードをアプライアンス背面にある紫色の PS2 ポートに接続します。

ステップ 6 アプライアンスの電源を入れます。

「Start of First Boot」（最初のブート開始）メッセージが表示されます。

DMM アプライアンスの設定

次のチェックリストを使用して、DMM アプライアンスをセットアップし、ソフトウェアを設定してください。

✓	作業
☐	1. 「Start of First Boot」（最初のブート開始）メッセージが表示されたら、 Enter キーを押します。
☐	2. DMM アプライアンスの DNS でルーティング可能な完全修飾ホスト名を入力します。[Change] を選択し、次に [OK] を選択します。DNS でルーティング可能なホスト名または IP アドレスを入力します。例： server.example.com
☐	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">  注意 </div> <div> DHCP を使用してアプライアンスの IP アドレスを取得しないでください。DHCP システムで IP アドレスが予期せず有効期限切れになる可能性があり、装置の設定をやり直して、切断された接続を再確立するという管理オーバーヘッドが発生するためです。また、アプライアンスに割り当てた固定 IP アドレスは変更しないでください。 </div> </div>
	3. IP アドレスとルーティング情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • アプライアンスが IP アドレスを DHCP サーバから取得する場合は、[Yes] を選択します。
	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="margin-right: 10px;">  注意 </div> <div> DHCP が失敗した場合は、固定 IP アドレスの入力を要求されたときに [No] を選択しないでください。[Yes] を選択し、ネットワーク接続を確認してから続行してください。 </div> </div>
	<ul style="list-style-type: none"> • アプライアンスが固定 IP アドレスを使用する場合は、[No] を選択し、次の固定ネットワーク設定を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> - アプライアンスで使用する IP アドレスを入力します。 - サブネット マスクを入力します。 - デフォルト ゲートウェイ IP アドレスまたは DNS でルーティング可能なホスト名を入力します。 - プライマリ DNS サーバの IP アドレスまたは DNS でルーティング可能なホスト名を入力します。 - セカンダリ DNS サーバの IP アドレスまたは DNS でルーティング可能なホスト名を入力します。 - [OK] を選択します。
☐	4. 入力したネットワーク設定が正しいかを確認します。設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。

✓	作業
<input type="checkbox"/>	<p>5. 次の手順のいずれかを実行し、アプライアンスのネットワーク インターフェイス カード (NIC) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他のデバイスに接続するときにアプライアンスの NIC がオートネゴシエーションによって最速の転送モードになるようにする場合は、[Yes] を選択します。 • NIC でオートネゴシエーションを使用しない場合は、[No] を選択します。NIC の速度を選択して、[OK] を選択します。次に、二重モードを選択し、[OK] を選択してから、[Yes] を選択します。
<input type="checkbox"/>	<p>6. 次のように時間帯を選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 上または下の矢印キーを使用して、時間帯のリストを参照します。 b. 正しい時間帯が表示されたら、[OK] を選択します。 c. 設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。
<input type="checkbox"/>	<p>7. 次のように現在の年、月、日を選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. Tab キーと上または下の矢印キーを使用して、値を参照して変更します。 b. 完了したら、[OK] を選択します。 c. 設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。
<input type="checkbox"/>	<p>8. 現在の時間、分、秒を選択します。0100 から 2400 の 24 時間形式を使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. Tab キーと上または下の矢印キーを使用して、値を参照して変更します。 b. 完了したら、[OK] を選択します。 c. 設定が正しければ、[Yes] を選択します。間違っていた場合は、[No] を選択して、修正します。
<input type="checkbox"/>	<p>9. <i>admin</i> アカウントのパスワードを入力し、[OK] を選択します。これは、アプライアンスを管理するのに使用するデフォルトのアカウントです。入力するパスワードは、6 文字以上にする必要があります。</p> <p>ヒント 強力なパスワードを使用することを推奨します。強力なパスワードとは、8 文字以上で、数字、大文字と小文字、および記号を含むパスワードです。</p>
<input type="checkbox"/>	<p>10. <i>pwadmin</i> アカウントのパスワードを入力し、[OK] を 2 回選択します。これは、<i>admin</i> アカウントのパスワードを忘れたときに使用するアカウントです。</p> <p>しばらく待つと、アプライアンスがリブートされ、ログイン プロンプトが表示されます。</p>
<input type="checkbox"/>	<p>11. DMM の管理インターフェイス (DMS-Admin) をブラウザにロードするには、AAI に表示される DMM アプライアンスの IP アドレス (<a href="http://<DMM_IP_address>:8080/">http://<DMM_IP_address>:8080/) を使用します。</p> <p>または、すでに DMM をブラウザにロードしている場合は、ページの上右端にある無題のリストから、[Administration] を選択します。</p>
<input type="checkbox"/>	<p>12. 次のデフォルト ユーザ名、パスワードを入力して DMS-Admin にログインし、[Accept] をクリックして End User License Agreement に同意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザ名 : superuser • パスワード : admin
<input type="checkbox"/>	<p>13. スーパーユーザ アカウントに次の情報を入力し、デフォルトの情報を変更して、[Save] をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Email Address : システムからの通知に使用するスーパーユーザ アカウントの E メール アドレスを入力します。 • Password と Re-enter password : スーパーユーザ アカウントのパスワードを入力し、確認のため再入力します。 <p>ライセンスをインストールするページが表示されます。</p>

✓	作業
□	<p>14. 次の手順で、ライセンス キーをインストールして、購入した DMM モジュールをアクティブにします。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. [Browse] をクリックして、ライセンス キーを保存したファイルを選択し、次に [Open] をクリックします。 b. [Install License] をクリックします。これで DMM ソフトウェア機能とモジュールがイネーブルになります。
□	<p>15. Video Portal モジュール (DMM-VPM) の設定値を入力します。</p> <p>(注) 直接 DMM-VPM にアクセスするのは、DMS-Admin で DMM の初期セットアップを完了してからにすることを推奨します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ブラウザに Video Portal Module Installation Configuration ページをロードするには、<a href="http://<DMM_IP_address>:8080/DMM/">http://<DMM_IP_address>:8080/DMM/ に移動し、次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Server Base URL]: Video Portal アプライアンスのルーティング可能な DNS 名。DMM によって自動的に入力されますが、間違っている場合は URL を変更できます。 • [IP or fully qualified domain name]: 「Video Portal アプライアンスの設定」(P.2-2) の作業 3 で指定した IP アドレス。 • [Installed Instance Name]: 「Video Portal アプライアンスの設定」(P.2-2) の作業 10 で指定した Video Portal アプライアンスのインスタンス名。 • [VP AAI Password]: 「Video Portal アプライアンスの設定」(P.2-2) の作業 11 で指定した Video Portal アプライアンスのパスワード。 b. [Proceed with DMM Installation] をクリックします。 <p>データベース テーブルが作成されるまで待ちます。次のページに、データベースの作成が成功したかどうかと、結果の要約が表示されます。</p>

✓	作業
□	<p>16. DMM アプライアンスのシステム変数の値を設定します。</p> <p>a. [Configure DMM Parameters] をクリックし、DMM アプライアンスのシステム変数に次の値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Application Administrator Contact Email]: ユーザからの支援要求を受信する E メールアドレス。このフィールドは DMM-VPM では読み取り専用です。DMS-Admin のスーパーユーザアカウントで指定された E メールアドレスが表示されます。 • [Deployment CC Email Recipient]: DMM からユーザに送信する配信および通知のメッセージのコピーを受信する E メールアドレス。 • [Password Retrieval Email]: 忘失したパスワードの取得および復元の要求を受信する E メールアドレス。 • [Metadata Checkout Duration]: ユーザがメタデータの編集をロックできる分単位の期間。 • [Scheduled Deployment Interval]: スケジュールされた配信がないかどうか、DMM によって自動的に確認される間隔 (分単位)。この設定はスケジュールされた配信だけに該当します。即座に配信する場合は、すぐに開始されます。 • [Default Content Provider]: 新しいプログラムを作成するとデフォルトで割り当てられるコンテンツプロバイダ一名。組織名などを入力します。 • [E-mail Server]: SMTP サーバのルーティング可能な DNS 名または IP アドレス。DMM から配信および承認の E メールメッセージを送信するときに使用します。 • [Application Server Base]: DMM アプライアンスを指定する最下位レベルの HTTP URL。TCP ポート番号を含みます。例: <code>http://dmm.yourdomain.com:8080</code>。 • [Upload URL]: DMM アプライアンスで、アップロードされたバイナリ ファイルを一時的に保存するサブディレクトリを指定する HTTP URL (TCP ポート番号を含む)。例: <code>http://dmm.yourdomain.com:8080/DMM/temp/video_portal/asset</code>。 <hr/> <p> 注意 [Upload Path on Local File System] の値は、このフィールドが編集可能な場合でも、デフォルトから変更しないでください。変更した場合、配信に失敗します。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • [Upload Path on Local File System]: DMM アプライアンスで、アップロードされたバイナリ ファイルを一時的に保存するサブディレクトリを指定するファイル システムの完全なパス名 (ルート ディレクトリから始まる)。たとえば、<code>/dm2/apache-tomcat/webapps/DMM/temp/video_portal/asset</code>。 • [Preview URL]: DMM アプライアンスで、プライベートなプレビュー準備用領域を指定する HTTP URL。TCP ポート番号を含みます。 <hr/> <p> 注意 [Preview Path on Local File System] の値は、このフィールドが編集可能な場合でも、デフォルトから変更しないでください。変更した場合、プレビューに失敗します。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> • [Preview Path on Local File System]: DMM アプライアンスで、プレビュー準備用領域のサブディレクトリを指定する、ルート ディレクトリから始まるファイル システムの完全なパス名。たとえば、<code>/dm2/apache-tomcat/webapps/DMM/temp/video_portal</code>。 <p>b. [Save Configuration Parameters] をクリックします。</p>

✓ 作業

□ 17. Video Portal の値を設定します。

a. [Setup] > [Video Portal] をクリックし、次の値をすべて入力します。

- [Video Portal Login Prompt] : Video Portal にログインしたときに表示されるプロンプト。
- [Video Portal FQDN] : DNS サーバおよび Video Portal アプライアンスの AAI で定義したものと同一、DNS で解決可能な、Video Portal のホスト名。
- [Video Portal Instance] : AAI で定義した、Video Portal のインスタンス名。
- [Video Portal Password] : AAI で定義したものと同一、Video Portal のインスタンス名。インスタンス名として Cisco を使用しないでください。
- [Video Portal Web Server Base] : 視聴者が自分の Video Portal を表示するサーバの最上位レベルの HTTP URL。
- [The URL to the live video portal] : 公開している Video Portal を直接指定する HTTP URL。
- [Default Audio Only Image] : オーディオ ファイルのサムネールとして表示される SWF または非プログレッシブ JPEG イメージ。横 100 ピクセルおよび縦 75 ピクセル、またはその倍数のファイルを指定する必要があります。
- [Default Preview Image] : 他に使用できるプレビューのイメージがない場合に、ビデオ ファイルのプレースホルダ サムネールとして表示される SWF または非プログレッシブ JPEG イメージ。横 100 ピクセルおよび縦 75 ピクセル、またはその倍数のファイルを指定する必要があります。
- [Supported Media Formats] : サポートする形式。Flash Video、Windows Media、Real、および MPEG4/H.264 のいずれかを組み合わせて選択します。
- [Media Preferences by Browser] : Video Portal および埋め込みのビデオ プレーヤーが、指定されたメディア タイプを再生する順序。

b. 入力した内容を保存して適用するには、[Save Portal Parameters] をクリックします。

✓	作業
□	<p>18. Video Portal の配信を設定します。視聴者に直接 DMM アプライアンスを参照させることはできないため、ファイルは少なくとも 1 つのリモート ロケーションに配信する必要があります。</p> <p>(注) Video Portal メタデータ ファイルに関連する値は編集できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 配信ロケーションは、サポートされるファイル タイプごとに異なる場所を指定できます。[Setup] > [Deployment Locations] を選択し、作業 17. で選択したサポートされるファイル タイプのすべてに、次の値をすべて入力します。無効な値を入力すると、配信が失敗します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Connection type]: ファイル転送のプロトコルまたは方式。オプションは FTP、SFTP、SCP です。 • [Host address]: 対応するタイプのファイルが配信されるリモート サーバの DNS でルーティング可能なホスト名または IP アドレス。 • [Login name]: リモート サーバにアクセスする権限を持つユーザ アカウント名。 • [Login password]: 指定した login name のユーザ アカウントに割り当てられたパスワード。Video Portal アプライアンスへの配信で SFTP オプションを選択した場合は、入力するパスワードは、Video Portal の admin パスワードとまったく同じにする必要があります。 • [Root file directory]: 配信するファイルの絶対ディレクトリパス。 • [Root URL Path]: 絶対 URL。この URL で、Video Portal はファイルをホストおよび参照します。 b. 選択した内容を保存し、すべてのファイル タイプで有効にするには、[Save Deployment Locations] をクリックします。 c. [Video Portal] > [Deployments] を選択し、 [Schedule New Deployment] をクリックします。 d. [Video Part Selection] 領域で [Video Part 1] チェックボックスをオンにします。 e. 事前にロードされたコンテンツおよびメタデータをすぐに配信するには、[Deployment Time] 領域の [Schedule Immediately] チェックボックスをオンにします。 f. [Create Deployment] をクリックします。 g. コンテンツおよびメタデータが適切に配信されたことを確認するには、ネットワークの別のコンピュータから、インストールした Video Portal にアクセスします。

✓	作業
□	<p>19. ネットワークの DMP を探します。複数の Cisco Digital Media Player (DMP) 装置を集中管理する DMM-DS ライセンスを購入した場合は、DMM によって DMP を自動検出し、グローバルに存在する DMP をグループ化して簡単にリモート管理できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. ページの上部右端にある無題のリストから、[Digital Signage] を選択します。 b. [Digital Media Players] > [Advanced Tasks] を選択します。 c. [Application Types] リストから [DMP Discovery] を選択し、 [Add New Application] をクリックします。 d. 次の必須の値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Name]: 簡潔で意味のあるグループ名。指定した範囲の DMP すべてに該当するような名前にします。たとえば、このグループの装置はすべてボストンにある、またはシンガポールにあるということを示す名前を指定します。 • [Description]: (省略可能) グループのより詳しい説明。目的、ポリシーなど任意の内容を入力します。 • [Discovery IP range]: DMM によって DMP を自動検出する際の IP アドレスの範囲。 e. 入力した内容を保存して適用するには、[Submit] をクリックします。入力内容を破棄するには、[Cancel] をクリックします。
□	<p>20. DMP 装置を設定して、DMM アプライアンスの権限を確認します。デジタル サイネージ ネットワークの集中管理された各 DMP で次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 組み込みのデバイス管理ソフトウェアにログインするには、ブラウザで DMP の IP アドレスを指定します。 b. ログイン プロンプトで、DMP に設定したユーザ名とパスワードを入力します。 c. [Settings] 領域で、[DMM] をクリックし、必要な値を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> • [DMM Host]: DMM サーバアプライアンスの IP アドレス。 • [Timeout (Seconds)]: DMP が DMM アプライアンスからの応答を待機する最大秒数。 d. 入力内容を確認して、値を変更するか DMP を再起動するまでの間適用するには、[Apply] をクリックします。 e. 設定の変更を DMP のリポート後も永続的に使用する場合は、[Save Configuration] をクリックし、Save Configuration ページが表示されたら、[Save] をクリックします。 f. [Reboot DMP] をクリックし、[Reboot DMM] ページが表示されたら、[Reboot] をクリックします。

セットアップとソフトウェアの設定はこれで完了です。



CHAPTER 4

Video Portal アプライアンスの管理

この章では、アプライアンス管理インターフェイス（AAI）を使用して Video Portal アプライアンスを管理する方法を説明します。内容は次のとおりです。

- 「AAI の起動と使用方法」 (P.4-1)
- 「日常の管理作業の実行」 (P.4-1)
- 「Video Portal の命名または名前変更」 (P.4-5)
- 「アプライアンスのネットワーク設定の変更」 (P.4-7)

AAI の起動と使用方法

アプライアンスのログインプロンプトから AAI を起動するには、第 2 章「Video Portal アプライアンスのセットアップと設定」の作業チェックリストを実行したときに指定した管理者アカウントのユーザー名 **admin** およびパスワードを入力します。

AAI でオプションを表示するか、選択内容を変更するには、次のいずれかを実行します。

- オプションを選択するには、またはオプションのリストを順に参照するには上または下の矢印キーを押します。
- 選択したオプションをオンまたはオフにするには、**Space** キーを押します。
- オプションの変更を保存して有効にするには、**Enter** キーを押します。

日常の管理作業の実行

- 「アプライアンス システム情報の表示」 (P.4-2)
- 「システム ログのコピーの取得と転送」 (P.4-2)
- 「アプライアンス管理パスワードの変更」 (P.4-3)
- 「アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート」 (P.4-4)
- 「アプライアンスの再起動」 (P.4-4)
- 「アプライアンスのシャットダウン」 (P.4-4)

アプライアンス システム情報の表示

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [SHOW_INFO] を選択し、**Enter** キーを押します。

システム ログのコピーの取得と転送

アプライアンスのログ ファイルのコピーを、アプライアンスに直接接続した USB ドライブに保存することができます。また、SFTP がイネーブルになっているサーバにログのコピーを転送することもできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 [GET_SYSLOG] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。

- 接続された USB ドライブにログのコピーを転送するには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ログのコピーを SFTP で到達可能なサーバに送信するには、次の手順を実行します。
 - a. [SFTP] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - b. SFTP サーバの IP アドレスまたはルーティング可能な DNS 名を入力し、**Enter** キーを押します。
 - c. SFTP サーバにログインするときに使用するユーザ名を入力し、**Enter** キーを押します。
 - d. SFTP サーバにログインするときに使用するパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。

SFTP ファイル転送に成功した場合は、AAI のシステム メッセージが表示されます。

Java キャッシュのイネーブルとディセーブル

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2** [CHANGE_JAVA_CACHE] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3** Java のキャッシュを有効にするには、[ENABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
Java のキャッシュを無効にするには、[DISABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 4** **Enter** キーを押します。
-

アプライアンス管理パスワードの変更

アプライアンス管理パスワードは変更できます。入力するパスワードは、6 文字以上にする必要があります。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2** [RESET_PASSWORD] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3** 新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 4** パスワードを正しく入力したことを確認するために、もう一度入力し、**Enter** キーを押します。



(注) DMM の Web ベースのグラフィカル ユーザ インターフェイスでも新しいパスワードを入力する必要があります。

- ステップ 5** DMM に管理者としてログインします。次に、ページの上右端にある無題のリストから、[Video Portal] を選択します。
 - ステップ 6** [Setup] > [Deployment Locations] を選択し、ページの一番下までスクロールします。
 - ステップ 7** [Video Portal Metadata] 領域で、[Login password] テキスト ボックスに新しいパスワードを入力します。
 - ステップ 8** [Save Deployment Locations] をクリックします。
-

アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート

ソフトウェア パッチまたはソフトウェア アップデートをインストールできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 [SOFTWARE_UPDATE] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3 CD-ROM を挿入し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスの再起動

アプライアンスを再起動できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 [REBOOT] を選択し、**Enter** キーを 2 回押します。
-

アプライアンスのシャットダウン

アプライアンスをシャットダウンできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 [SHUTDOWN] を選択し、**Enter** キーを 2 回押します。
-

Video Portal アプライアンスの管理オプションの使用

- 「Video Portal の命名または名前変更」(P.4-5)
- 「Video Portal アプライアンスのバックアップ」(P.4-5)
- 「Video Portal アプライアンスのバックアップからの復元」(P.4-6)
- 「ログレベルの変更」(P.4-6)

Video Portal の命名または名前変更

Video Portal には名前を指定する必要があります。名前はいつでも変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2** [INSTANCE NAME] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3** 名前を入力します。
入力した名前は、公開している Video Portal の HTTP URL に表示されます。
 - ステップ 4** AAI に入力した名前が表示されたら、**Enter** キーを押します。
-

Video Portal アプライアンスのバックアップ

AAI を使用してアプライアンスをバックアップできます。このバックアップでは、アプライアンスのデータベースと設定情報だけが含まれるファイルが作成されます。メディア ファイルは含まれません。



ヒント

DMS-Admin を使用してアプライアンスをバックアップすることもできます。このバックアップでは、DMM および Video Portal アプライアンスの両方のデータベースと設定情報が含まれるファイルが作成されます。詳細については、Cisco.com で『*User Guide for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2** アプライアンスをバックアップするには、[BACKUP_VP] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3** USB ドライブにバックアップするには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

Video Portal アプライアンスのバックアップからの復元

AAI を使用してアプライアンスをバックアップできます。このバックアップでは、アプライアンスのデータベースと設定情報だけが含まれるファイルが作成されます。メディア ファイルは含まれません。



ヒント

DMS-Admin を使用してアプライアンスをバックアップすることもできます。このバックアップでは、DMM および Video Portal アプライアンスの両方のデータベースと設定情報が含まれるファイルが作成されます。詳細については、Cisco.com で『*User Guide for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 アプライアンスを復元するには、[RESTORE_VP] を選択し、**Enter** キーを押します。

ログレベルの変更

syslog メッセージの詳細度のレベルを変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 [VP_LOG_LEVEL] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。

- 最も重大度の高いメッセージだけを受信する場合は、[ERROR] を選択します。
- 警告メッセージおよびエラー メッセージを受信する場合は、[WARN] を選択します。
- 情報、警告、エラーのメッセージを受信する場合は、[INFO] を選択します。
- すべてのレベルの重大度でメッセージを受信する場合は、[DEBUG] を選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

アプライアンスのネットワーク設定の変更



(注)

- Video Portal アプライアンスに割り当てた固定 IP アドレスは変更しないでください。
- DHCP を使用してアプライアンスの IP アドレスを取得しないでください。DHCP システムで IP アドレスが予期せず有効期限切れになる可能性があり、装置の設定をやり直して、切断された接続を再確立するという管理オーバーヘッドが発生するためです。
- Video Portal アプライアンスは配信ロケーションとして使用しないことを強く推奨しますが、使用する場合は次の点に注意してください。[Setup] > [Deployment Locations] を選択して DMM-VPM で配信ロケーションを指定するときに、ホスト名ではなく IP アドレスを使用した場合、ここで Video Portal アプライアンスの IP アドレスを変更すると、DMM-VPM で行った入力の一部が無効になります。配信ロケーション、ビデオ パーツ、ビデオ、プログラムに指定した IP アドレスなどの値は再度手動で入力する必要があります。無効になった IP アドレスを入力されているロケーションすべてで修正するまでは、対応する配信、ビデオ パーツ、ビデオ、プログラムが動作しません。
- ネットワークで DNS サーバを使用している場合は、Video Portal アプライアンスの IP アドレスを変更するたびに、解決可能な DNS ホスト名を Video Portal アプライアンスに割り当て直す必要があります。

アプライアンスのネットワーク設定を変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [NETWORK_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 変更するネットワーク設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。

- [HOST_NAME] : アプライアンスのホスト名を変更するには、このオプションを選択します。
- [TCP_IP] : アプライアンスの IP アドレスの取得方法 (DHCP または固定) を変更するには、このオプションを選択します。DHCP を選択しないことを推奨します。
- [DNS] : アプライアンスのプライマリまたはセカンダリ DNS サーバを変更するには、このオプションを選択します。
- [AUTO_NEGOTIATION] : 速度および二重化を自動ネゴシエーションするかどうかなど、アプライアンスの NIC の速度および二重設定を変更するには、このオプションを選択します。
- [NETWORK_TOOLS] : ネットワークのトラブルシューティングを行うには、このオプションを選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

ステップ 4 新しい設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。

ステップ 5 変更したすべてのネットワーク設定の組み合わせを確認します。

- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
- 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。

アプライアンスの日時設定の変更

アプライアンスの日時を設定できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [DATE_TIME_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 変更する設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。

- [TIME_ZONE]: アプライアンスの時間帯を変更するか、アプライアンスのシステム クロックの UTC の使用をイネーブルまたはディセーブルにするには、このオプションを選択します。
- [DATE]: アプライアンスの年、月、日を変更するには、このオプションを選択します。
- [TIME]: アプライアンスの時間、分、秒を変更するには、このオプションを選択します。
- [NTP]: アプライアンスの NTP サーバの使用をイネーブルまたはディセーブルにする、または、アプライアンスで使用する NTP サーバを変更するには、このオプションを選択します。
- [SHOW_TIME]: このアプライアンスで有効になっている時間設定を参照するには、このオプションを選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

ステップ 4 新しい日時設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。

ステップ 5 変更したすべての日時設定の組み合わせを確認します。

- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
 - 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。
-

データベース複製の確認



注意

DMM アプライアンスと Video Portal アプライアンスの間でデータベース複製を設定してイネーブルにする必要があります。これを行わない場合は、Cisco DMS は仕様のとおり動作しません。「データベース複製の設定」(P.5-7) を参照してください。

DMM アプライアンスが一時的にダウンしているか、再起動中の場合は、DMM と Video Portal の間の複製が再開されていることを確認する必要があります。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [REPLICATION] を選択し、**Enter** キーを押します。

「Replication to Digital Media Manager: Working」(DMM への複製: 実行中) というメッセージが表示されます。



CHAPTER 5

DMM アプライアンスの管理

この章では、アプライアンス管理インターフェイス（AAI）を使用して DMM アプライアンスを管理する方法を説明します。内容は次のとおりです。

- 「AAI の起動と使用方法」 (P.5-1)
- 「日常の管理作業の実行」 (P.5-1)
- 「アプライアンスのネットワーク設定の変更」 (P.5-6)
- 「アプライアンスの日時設定の変更」 (P.5-7)

AAI の起動と使用方法

アプライアンスのログインプロンプトから AAI を起動するには、第 3 章「DMM アプライアンスのセットアップと設定」の作業チェックリストを実行したときに指定した管理者アカウントのユーザ名 **admin** およびパスワードを入力します。

AAI でオプションを表示するか、選択内容を変更するには、次のいずれかを実行します。

- オプションを選択するには、またはオプションのリストを順に参照するには上または下の矢印キーを押します。
- 選択したオプションをオンまたはオフにするには、**Space** キーを押します。
- オプションの変更を保存して有効にするには、**Enter** キーを押します。

日常の管理作業の実行

- 「アプライアンス システム情報の表示」 (P.5-2)
- 「アプライアンスのバックアップ」 (P.5-2)
- 「アプライアンスのバックアップからの復元」 (P.5-2)
- 「ログレベルの変更」 (P.5-3)
- 「システム ログのコピーの取得と転送」 (P.5-3)
- 「Java キャッシュのイネーブルとディセーブル」 (P.5-4)
- 「アプライアンス管理パスワードの変更」 (P.5-4)
- 「アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート」 (P.5-5)
- 「アプライアンスの再起動」 (P.5-5)

- ・ 「アプライアンスのシャットダウン」 (P.5-5)

アプライアンス システム情報の表示

アプライアンスのシステム情報を表示するには、ログインし、[SHOW_INFO] を選択して、**Enter** キーを押します。

アプライアンスのバックアップ

AAI を使用してアプライアンスをバックアップできます。このバックアップでは、アプライアンスのデータベースと設定情報だけが含まれるファイルが作成されます。メディア ファイルは含まれません。



ヒント

DMS-Admin を使用してアプライアンスをバックアップすることもできます。このバックアップでは、DMM および Video Portal アプライアンスの両方のデータベースと設定情報が含まれるファイルが作成されます。詳細については、Cisco.com で『*User Guide for Cisco Digital Media Manager 5.1.x*』を参照してください。

作業を開始する前に

- ・ AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DMM_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** DMM をバックアップするには、[BACKUP_DMM] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。
- ・ USB ドライブにバックアップするには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ・ Video Portal アプライアンスにバックアップするには、[VIDEO_PORTAL] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスのバックアップからの復元

アプライアンスをバックアップから復元できます。

作業を開始する前に

- ・ AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DMM_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** DMM を復元するには、[RESTORE_DMM] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します
- ・ USB ドライブにあるバックアップから復元するには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。

- Video Portal アプライアンスにあるバックアップから復元するには、[VIDEO_PORTAL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ログレベルの変更

syslog メッセージの詳細度のレベルを変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DMM_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [DMM_LOG_LEVEL] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。
- 最も重大度の高いメッセージだけを受信する場合は、[ERROR] を選択します。
 - 警告メッセージおよびエラー メッセージを受信する場合は、[WARN] を選択します。
 - 情報、警告、エラーのメッセージを受信する場合は、[INFO] を選択します。
 - すべてのレベルの重大度でメッセージを受信する場合は、[DEBUG] を選択します。
- ステップ 3** **Enter** キーを押します。
-

システム ログのコピーの取得と転送

アプライアンスのログ ファイルのコピーを、アプライアンスに直接接続した USB ドライブに保存することができます。また、SFTP がイネーブルになっているサーバにログのコピーを転送することもできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [GET_SYSLOG] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。
- 接続された USB ドライブにログのコピーを転送するには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ログのコピーを SFTP で到達可能なサーバに送信するには、次の手順を実行します。
 - a. [SFTP] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - b. SFTP サーバの IP アドレスまたはルーティング可能な DNS 名を入力し、**Enter** キーを押します。
 - c. SFTP サーバにログインするときに使用するユーザ名を入力し、**Enter** キーを押します。

- d. SFTP サーバにログインするときに使用するパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。
SFTP ファイル転送に成功した場合は、AAI のシステム メッセージが表示されます。
-

Java キャッシュのイネーブルとディセーブル

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [CHANGE_JAVA_CACHE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** Java のキャッシュを有効にするには、[ENABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
Java のキャッシュを無効にするには、[DISABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4** **Enter** キーを押します。
-

アプライアンス管理パスワードの変更

アプライアンス管理パスワードは変更できます。入力するパスワードは、6 文字以上にする必要があります。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [RESET_PASSWORD] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** 新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを 3 回押します。
-

アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート

ソフトウェア パッチまたはソフトウェア アップデートをインストールできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 [SOFTWARE_UPDATE] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3 CD-ROM を挿入し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスの再起動

アプライアンスを再起動できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 [REBOOT] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3 [Yes] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスのシャットダウン

アプライアンスをシャットダウンできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 [SHUTDOWN] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3 [Yes] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスのネットワーク設定の変更



(注)

- DMM アプライアンスに割り当てた固定 IP アドレスは変更しないでください。
- DHCP を使用してアプライアンスの IP アドレスを取得しないでください。DHCP システムで IP アドレスが予期せず有効期限切れになる可能性があり、装置の設定をやり直して、切断された接続を再確立するという管理オーバーヘッドが発生するためです。
- ネットワークで DNS サーバを使用している場合は、DMM アプライアンスの IP アドレスを変更するたびに、解決可能な DNS ホスト名を DMM アプライアンスに割り当て直す必要があります。

アプライアンスのネットワーク設定を変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [NETWORK_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 変更するネットワーク設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。

- [HOSTNAME] : アプライアンスのホスト名を変更するには、このオプションを選択します。
- [TCP_IP] : アプライアンスの IP アドレスの取得方法 (DHCP または固定) を変更するには、このオプションを選択します。DHCP を選択しないことを推奨します。
- [DNS] : アプライアンスのプライマリまたはセカンダリ DNS サーバを変更するには、このオプションを選択します。
- [AUTO_NEGOTIATION] : 速度および二重化を自動ネゴシエーションするかどうかなど、アプライアンスの NIC の速度および二重設定を変更するには、このオプションを選択します。
- [NETWORK_TOOLS] : ネットワークのトラブルシューティングを行うには、このオプションを選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

ステップ 4 新しい設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。

ステップ 5 変更したすべてのネットワーク設定の組み合わせを確認します。

- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
- 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。

アプライアンスの日時設定の変更

アプライアンスの日時を設定できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [DATE_TIME_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 変更する設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。

- [TIME_ZONE]: アプライアンスの時間帯を変更するか、アプライアンスのシステム クロックの UTC の使用をイネーブルまたはディセーブルにするには、このオプションを選択します。
- [DATE]: アプライアンスの年、月、日を変更するには、このオプションを選択します。
- [TIME]: アプライアンスの時間、分、秒を変更するには、このオプションを選択します。
- [NTP]: アプライアンスの NTP サーバの使用をイネーブルまたはディセーブルにするには、または、アプライアンスで使用する NTP サーバを変更するには、このオプションを選択します。
- [SHOW_TIME]: このアプライアンスで有効になっている時間設定を参照するには、このオプションを選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

ステップ 4 新しい日時設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。

ステップ 5 変更したすべての日時設定の組み合わせを確認します。

- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
- 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。

データベース複製の設定



注意

Cisco Video Portal を使用する場合は、DMM アプライアンスと Video Portal アプライアンスの間でデータベース複製を設定してイネーブルにする必要があります。これを行わない場合は、Cisco DMS は仕様のとおり動作しません。



(注)

DMM アプライアンスが一時的にダウンしているか、再起動中の場合は、DMM と Video Portal の間の複製が再開されていることを確認する必要があります。これを確認するには、Video Portal アプライアンスの AAI に「Replication to Digital Media Manager: Working」(DMM への複製: 実行中) というメッセージが表示されていることを確認します。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [REPLICATION] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** Video Portal アプライアンスの IP アドレスを入力または編集するには、次の手順を実行します。
- a. [ADD/CHANGE] を選択します。
 - b. **Enter** キーを押します。
 - c. IP アドレスを入力します。
 - d. [OK] を押します。
または、[Cancel] を押します。
- ステップ 3** (任意) 複製ステータスを確認するには、[STATUS] を選択して、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4** **Enter** キーを押します。
複製が完了するまでの速度は、複製対象のレコードの数によって異なります。
-